

# 県民の森 花ごよみ 10月号

～今月はこんな花(実)が見られます～

→ モデルコース  
(歩いて約120分)

○ トイレ



ツルリンドウ (実)

長さ40～80cmになるつる性の多年草。つるは紫色を帯びる。花は淡紫色で8～10月に開花。(リンドウ科)



ツリフネソウ

名は、細い花柄の先につり下がって咲く花の姿を、釣舟(つるして使う釣花生けのなかで舟形をしたもの)にたとえたものという。やや湿ったところに多い高さ50～80cmの一年草。(ツリフネソウ科)



ススキ

別名:オバナ  
すくすく立つ木(草)という説もあるが、語源ははっきりとしない。秋の七草のひとつで尾花の名でも親しまれている。(イネ科)



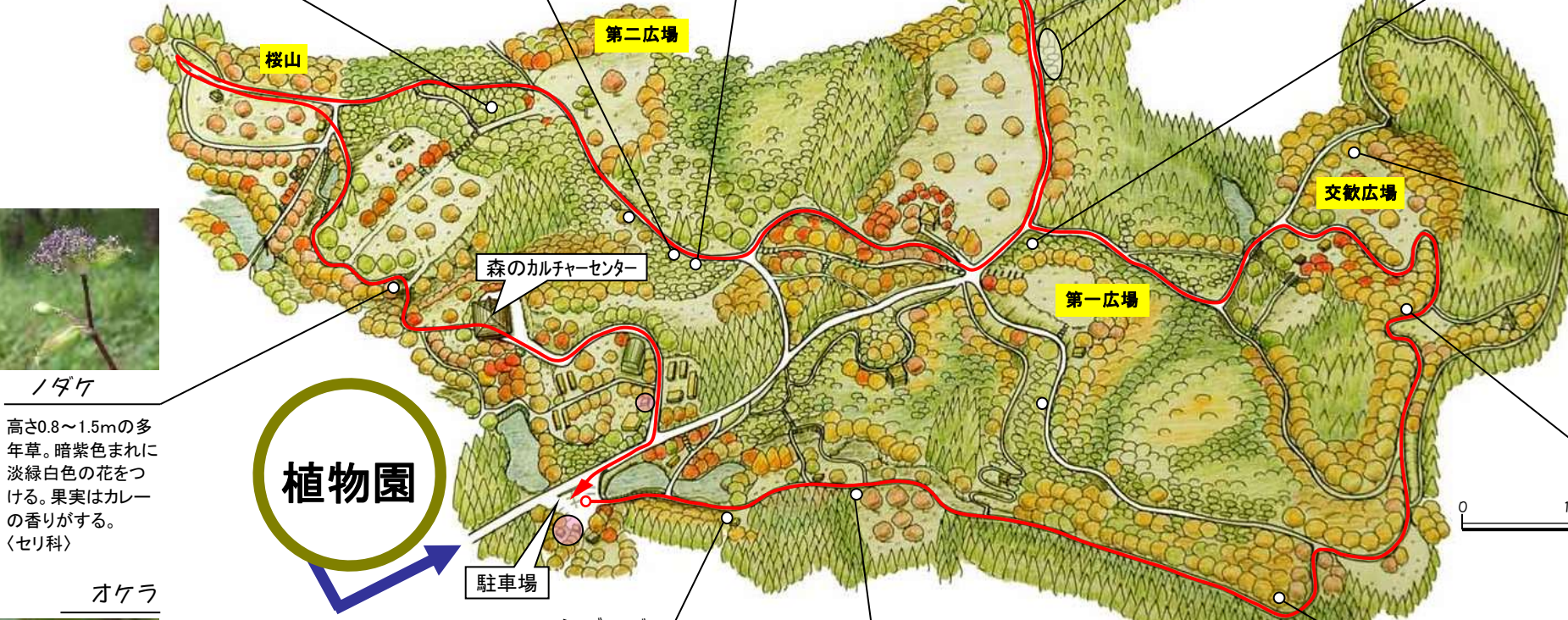
コウヤボウキ

別名:タマボウキ  
名は、高野山で枝をほろろの材料にしたことからついた。本州(関東地方以西)～九州に分布する落葉小低木。高さ0.5～1mになる。(キク科)



ムラサキシキブ

名は、美しい紫色の果実を紫式部にたとえたという説がある。6～8月に淡紅紫色の花をつける。高さ1mほどになる。(シソ科)



**植物園**



ノダケ

高さ0.8～1.5mの多年草。暗紫まわりに淡緑白色の花をつける。果実はカレーの香りがする。(セリ科)



オケラ

やや乾いた草地に生える高さ0.3～1mの多年草。筒状花は白色まれにやや紅色を帯びる。地下茎は芳香があり、正月の屠蘇(とそ)にも使われる。(キク科)



ミゾソバ

別名はウシノヒタイ。葉の形が牛の顔(額)を思わせることによる。田のあぜや水辺など、やや湿ったところに群生する高さ0.3～1mの一年草。



フユノハナワラビ

北海道～九州の日の当たる山地や原野にふつうに生育する小型のシダ植物。7月に枯れて、8月には新葉が伸びてくる。(ハナヤマドリ科)



キバナアキギリ

名は、秋にキリに似た黄色の花をつけることによる。低い山地の木陰などに生える高さ20～40cmの多年草。(シソ科)



アキノキリンソウ

別名:アワダチソウ  
日当たりのよい山野に生える高さ30～80cmの多年草。セイタカアワダチソウとは同じ属。(キク科)



ツリガネニンジン

山野にごくふつうに見られる多年草。高さは0.4～1m。根は大きい。葉、小葉、花の付き方も毛の状態もいろいろである。(キキョウ科)

ムラサキシキブ

マツ見本林

交歓広場

第一広場

第二広場

桜山

森のカルチャーセンター

駐車場